

アプリ減災教室™(WEB版)

組織防災・BCPに活かしませんか？

※用意するもの

- WEBサイトにアクセスできるスマートフォンやパソコン (個人あるいは組織として1台あれば大丈夫です)
- 担当者が事前にアプリ管理者 (岐阜大学内) にメールで問い合わせ (E-mail: ceip-bosai@gifu-u.ac.jp)



- ・職員や家庭の災害への備えは、組織として強制できない。
- ・職員や家庭が被害を受けると、組織の機能は低下する。
- ・物資の用意以外に、何を促せば良いのかわからない。
- ・何かをするなら、成果が見えないと続けられない。

アプリの効能

- ★宿題として「減災教室」をするだけでも、行動を促す効果が期待できる。
- ★職員(組織)の現状課題を把握することで、限られた時間で何に取り組むか参考になる。
- ★部署や職員の番号を入力することで、グループでの集計や改善評価ができる。

スマートフォンまたはパソコンで、
 ①「減災教室」で検索、②右のQRコード、
 ③下のURLからアクセス



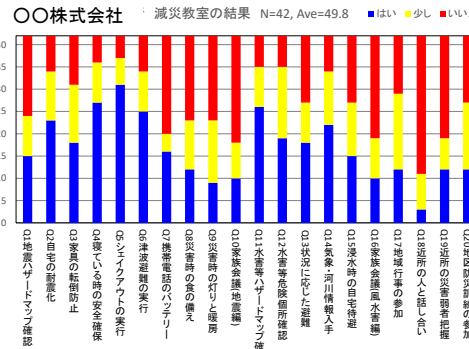
<http://gensaikyoushitsu.sakura.ne.jp/>



「紹介者ID」に組織名を入力

※事前にご連絡ください (ceip-bosai@gifu-u.ac.jp)

集計データ
! 有償提供中!



➤ データを集計してグラフ化

- ✓実施率が低いQ10とQ16「家族会議」の100%実施を目標としてはいかがでしょうか？
→啓発・行動促進のための掲示が必要です。
- ✓半年に1回程度定期的に減災教室を実施することをオススメします。

➤ 組織としての課題と解決策を提案

①組織として課題を共有

例えば、回覧、チラシ、集会、勉強会など

②組織として防災行動を促進

例えば、Q11~13を課題として、自分の住む地区のハザードマップや危険箇所の確認を促すような、任意参加の宿題を出す。

③一定期間後に再テストを実施

効果把握と共に、改善策や次の課題を検討する。